



おげんきですか? 文芸欄
 (俳句)
 (新富町男性・小林果さん)
 コロナ禍の輝のしぐれの石畳
 朝顔の咲き継ぐ紺を深めけり

東大宮支部の組合員さんは短歌でも大奮闘
 宮崎市長島通線の東大宮中学校前クスノキ街路樹10本に、短歌を大きく書き出した札が2枚ずつ掲示してあります。これは地元住民のみなさんの手で6月27日に設置されたもので、今後「短歌ロード」として地元住民の文化事業の一環として取りこまれます。
 この短歌20首は、東大宮地域まちづくり推進委員会が募集した作品を、短歌大会で選評し入選されたもので、小学生から高齢者までの作品が並んでいます。
 東大宮地域まちづくり文化部では年1回短歌大会を開催してきましたが、医療生協の組合員さん(第3回短歌大会・佳作)
戸田雅子さん (第5回短歌大会・佳作)
蘇がえれなつかしき歌古き歌老いも若きき歌声喫茶
 二人して懐しき語り母惚ぶ愛しきかな車椅子の姉
大田原良治さん (第3回短歌大会・佳作)
お互いがわからなくなる父と母 時々わたり笑顔になりぬ

虹の声 宮崎生協病院 虹の意見箱
 7月度宮崎生協病院利用委員会
 (再) この1年で2人の娘が高熱を出し、生協病院でお世話になりました。コロナ禍で熱がある…となると診てくれなくて、とても困っていました。大きな病院も個人の病院も…何処も断られてしまっ…。本当に感謝です。ありがとうございます。
 (答) 当院の医療活動がお役に立てました事、大変喜ばしく感じております。
 宮崎生協病院では、新型コロナウイルス感染症が認知された2020年の1月より、発熱というだけで診察が受けられない発熱外来難民を出さない事をコロナ禍での医療活動方針の柱の1つとして取り組んでまいりました。
 発熱外来は、時にお時間を要する場合もあり、ご迷惑をおかけしておりますが、少しでもご不安を取り除く一助となれます様、今後も取り組んでまいります。

合さんも参加し、活躍されています。
 街路樹の大短冊に掲載されている短歌の中から、医療生協組合員さんの作品(御本人と連絡が取れた方のみ)をご紹介します。
 2019年 支部総会の様子

研修医紹介 八瀬尾祐士医師
 こんにちは、私は宮崎生協病院初期研修医1年目の八瀬尾祐斗です。生まれも育ちも宮崎県で、幼いころから将来は宮崎県で医師として働きたいと考えていたのですが、その夢が叶って本当に良かったです。今回は私が医療生協についてお話させてもらおうと思います。
 まず、私が初めて医療生協を知ったのは、大学に貼ってあったポスターでした。そこに書かれていた「医療生協」について調べたのがきっかけでした。それから実際に生協病院で実習をし、班会などにも参加して、医療生協に関わる人たちの思いや考え方に触れ、とても感じることができ、ここから地域に密着した医療ができるのではないかと、医療生協にお世話になることを決めました。
 最後になりましたが、コロナ禍があり、組合員さんの方々と交流する機会が少ないですが、いつか皆さんの助けになれるよう精進して参りますので、これからもよろしく願っています。

第32回通常総代会
 6月23日に開催された通常総代会で、2つの支部による特徴的な取り組みが発表されました。
 まず、このはな支部の林道子理事より、2016年から実施している医療生協組合員に限らないすべての人が対象の健康チャレンジや、今年から行っている毎朝のラジオ体操についての発表がありました。
 次に、東北支部の甲斐郁枝支部長より、訪問活動をきっかけに困っている人を介護認定員へ繋ぐことが出来た事例の紹介、今後はたまり場(こいの家)での活動を強化していくと報告がありました。

2021年7月度 理事会の報告
 <審議事項>
 ・法人の2021年度5月の経常利益は803万円(予算差1,501万円)に到達。
 ・第32回通常総代会についての報告
 ・平和と社会保障を守る取り組みについての提案
 ・介護事業所における新型コロナウイルス感染症の調査結果の報告
 ・就業規則改定についての報告
 ・2021年度の監査方針についての提案
 ・役員報酬についての報告
 等々、以上可決承認いたしました

今、宮崎医療生協は
 2021年6月末現在
 ■新規加入者 44名(6/1~6/30)
 ■総組合員数 47,375名
 ■出資金 6億2,211万円
 ■平均出資金 13,132円
 ■班数 266班
 ■おげんきですか手配り配布数 18,995部

宮崎医療生協では介護職員を募集しています
 初任者研修修了者は大歓迎、未経験・無資格者でも可です。丁寧に指導いたします。
 家庭的な環境で介護の事業を行っていますので是非お問い合わせください。(本部 総務部)

お詫びと訂正
 先月発行の「おげんきですか 2021年7月号(No.478)」の記事にて下記の様に誤りがありました。皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。ここに深くお詫びし、訂正させていただきます。
 1面「退任役員への表彰と新任医師の紹介」
 2行目「10年間理事として～」→「13年間理事として～」
 1面「体温計」
 14行目「白い航海」→「白い航跡」

地域ははなをのこす。助けてははなをのこす。支部活動紹介
 ●住吉支部●
 支部が充足したのは2011年。あの東日本大震災の衝撃がさめやらぬ5月でした。2020年度は新型コロナウイルスが世界を席巻し、緊急事態下、規制と自粛が常態化する中で、支部活動も停滞を余儀なくされました。
 支部が発足10年目の節目の年なので、発足以来、ほぼやりとげしてきた仲間増やしだけでは何とか達成したいと取り組む、目標達成できました。この要因は少数ながら支部運営委員会を確立できたことにあります。それぞれが趣味などに声をかけた結果です。
 お互いの「困った」が言い合えるつながり、「困った」に気づき寄り添えるつながりが、活動を模索しながら、みんなが平和で安心して暮らせるまちづくりをめざして、小さな一歩をききみたいと思います。

●部北支部●
 2020年度はコロナ感染状況を見ながら計画変更を検討することが出来なかった点が反省すべき点と考えます。
 2021年は屋外での活動に切り替えて、公園でのグラウンドゴルフや、ノルディックウォーキング、またコロナの感染状況を考慮しながら体育館内でのポッチャを取り入れられないかを検討しております。
 支部ニュースの内容を把握し、今年度の活動に活かしていければと考えています。

2021年 運営委員会の様子
 2019年 支部総会の様子
 2017年 支部総会の様子
 2019年 支部総会の様子

2021年 支部総会の様子
 私たち東大宮支部は長年にわたり、在宅療養患者さん宅への七夕飾りや介護施設みんなの柳との交流、コトブキ丸店での健康チェック、署名活動、秋のバスハイク、健康まつり等の定例行事で地域組合員さんとの交流を深めてきました。それもコロナ禍の今年度はどれも手付かずには終わりました。いつも和気あいあいの運営委員会ですが、今年度は2名運営委員が増えました。生協病院のお膝元、地元支部として時には便利屋として本部にうまく使われながらも存在感のある支部として活動展開中です。

●南方支部●
 南方支部総会を5月16日に開催する予定でしたが、しかしコロナ騒動が続く中で、どのように対処し進めるべきか考えていた際、自粛するようにお達しもあり総会の自粛を優先し中止の運びとなりました。急遽に猛威をふるったため今更に通りに三密を避け一人ひとりが気をつけなければと思っています。班会開催やイベントなど毎回延期や中止を余儀なくされています。唯一組合員さんとの触れ合いの場が、機関紙配布時に声かけをしたり又は電話相談に応じたリなど細やかな取り組みです。今後の支部運営もままなりません。コロナ禍が一日も早く終息することを願っています。

●北2支部●
 今年は、支部長さんが病氣療養のため運営委員が力を合わせて行事や活動を行いました。新型コロナの影響で、楽しみにしていたバスハイク、グラウンドゴルフ等の行事が取りやめになり残念でした。医療福祉生協の情報誌「コムコム」に我が支部のカトレブ班の黄門様(A様・93才)が漫画で登場され感激しました。
 支部活動内容の一部として宮崎生協病院4階病棟に七夕の時は七夕飾り 班会開催やイベントなど毎々延期や中止と余儀なくされています。唯一組合員さんとの触れ合いの場が、機関紙配布時に声かけをしたり又は電話相談に応じたリなど細やかな取り組みです。今後の支部運営もままなりません。コロナ禍が一日も早く終息することを願っています。

●中央支部●
 中央支部では4月28日に感染対策を十分に講じた上で支部総会を開催しました。昨年度は新型コロナウイルスのつながりが取りづらいつつな状況となり支部活動やサロン活動も制限されてしまいました。その中で、「やっぱり人と人とのつながりが大事だよね」と改めて医療生協の活動の大切さを実感することが多くありました。
 総会では今年度もコロナに負けず感染対策に留意して活動を継続していく事を確認。また、デイサービスと和知川原の理学療法士の甲斐さんより「フレイルについて」「フレイル予防の体操」を講義していただきました。今年度も活動が制限される状況は続くと思いますが「健康づくり・まちづくり」の活動を「フレイル予防のとりくみ」を通して進めたいと思います。

おげんき仲間へ配布協力員紹介
 このはなクリニック
 みんなでガンバトルよ!!
 私達このはな支部は、コロナの中、高田先生を先頭に、橋本事務局長、看護師、受付の方、デイケアの黒木さん、スタッフの方々に少して力になりたいと日々考えています。当クリニックも発熱外来のテントがありまして、二月の強風にあおられ無残な姿に。組合員である「内海幹夫さん」が快く仕事を受けてくださいました。実費のみ(テント用の厚手のビニール、ロープ代)で強風に耐える発熱外来のテント完成。当日は小雨模様、寒い日でしたが、事務局長の手伝いもあり一時間ほどで終了することが出来ました。内海さん曰く「クリニックには命を助けてもらっただけ。そのお返しに出来たので嬉し〜」。と。地域ならではの繋がりがですね。本当にありがとうございました。

医系学生のための 食材支援(フードドライブ)にご協力ください!

ご寄付いただきたい食品
 ・パスタ、素麺などの乾麺
 ・缶詰・レトルト食品
 ・インスタント食品
 ・のり・お茶漬け・ふりかけ
 ・お菓子・飲料(コーヒーなど)
 ・調味料(醤油、食用油、味噌など)

以下の食品は受け付けできません。
 ▶賞味期限が明記されていない食品
 ▶賞味期限が切れている食品
 ▶賞味期限が2ヶ月を切っている食品
 ▶開封されているもの
 ▶生鮮食品(生肉・魚介類・生野菜)
 ▶アルコール(みりん、料理酒は除く)

●実施日時: 毎月第1・4金曜日 15時~18時
 ●回収場所: 宮崎医療生協本部/宮崎市長島町天神前1175-3
 医系学生サポートセンター/宮崎市長島町木原5536番地1階
 ●お問い合わせ: 学生担当・松本朋美 TEL:090-5937-6403